

第4分区A 戦略計画 アンケート

クラブ名	戦略計画	作成時期	何期目	どのように作成されたか
太田 RC	<p>元気で活力ある太田ロータリークラブであるために2026-2027年度の創立70周年に向けた活動指標を定めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ロータリーに関心を持とう 2. 新しい仲間を作ろう 3. 例会を充実させ委員会活動を活性化しよう 4. 奉仕活動を見直し、地域に根差した事業を展開しよう 5. 次代を担う青少年を支援しよう 6. 地区の数値目標を達成しよう 7. ロータリーの知識を習得しよう 8. 太田ロータリークラブの公共イメージを上げよう 	2019年	4期目	竹内正幸パスト会長を中心に中堅・若手会員で構成した戦略計画策定会議を開催して1年をかけて70周年に向けた活動指針を策定した。
太田西 RC	<p>会員激減のために20名を目標にここ何年か会員増強に力を入れています。</p>			
太田南 RC	<p>長期戦略計画として、 会員増強と地域社会貢献をメインに捉えることで、組織の発展と地域社会への貢献を推進し、以下にそのような計画を示しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 会員増強 会員拡大キャンペーンの実施:コミュニティやビジネスネットワークを活用し、ロータリークラブの存在と価値を広く知ってもらうためのキャンペーンを計画します。創立50周年に向けて、毎年純増を維持。 ② リクルートイベントの開催:ロータリークラブの活動や目標を説明するためのイベントを開催し、新しいメンバーを募集します。 メンバーシップ多様性の促進:年齢・性別・職業などの異なるバックグラウンドを持つメンバーの多様性を図り、より含めた視野とアイデアを組織に取り入れます。 ③ 地域への奉仕 継続事業であるぐんま国際アカデミーへの協賛やボランティア活動での提携、地域活性化の核であるプロバスケットボールチーム「群馬クレインサンダーズ」への支援協力体制の強化。 ④ 地域との連携をとり、会員の研修を行い、ロータリークラブを学び、社会へ還元する。 ⑤ 魅力あるクラブ運営を心掛け、会員は世代を超えて親睦を深めるように努める。 	3期から5期毎に時世に合わせて見直し	10期目	戦略委員長(パスト会長)を中心に策定
新田 RC	<p>一人一人が行動しクラブを活動させてロータリアンならではの役割・有意義かつ持続可能な奉仕・達成感・活力あるクラブを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> *多様性の職種を生かしながらの奉仕活動を実践する *親睦を深めかけがえのない絆をつくり会員増強を図り、会員数を30名以上にする *出席率90%以上を目指す *例会プログラムの工夫し質を向上させる *RLIなどの地区のプログラムに積極的に参加しロータリアンとしての意識を高めて次世代の人材育成に努める *年2回の地域の早朝清掃・歳末募金活動での公共イメージの向上を持続させる 	2022-23年	2期目	<p>*創立41周年目に入り前年度を見直した</p> <p>*自クラブの長所(やわらかい・行動力)・短所(会員少・活発な意見不足)を踏まえその時期の役員の計画策定が多数</p>

クラブ名	戦略計画	作成時期	何期目	どのように作成されたか
太田中央 RC	<p>第1段階：クラブの現状分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組むべき戦略的課題を特定する ⇒ 例会実質出席率の向上 ・クラブの長所と短所を把握する ⇒ 長所：財政状態が良好 短所：組織力の欠如 ・会員の満足度とニーズを調べる ・地域社会にある機会と課題を特定する <p>第2段階：ビジョンの作成（どのようなクラブになりたいのか？）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブが実現したい特徴を5～7つ挙げる ⇒ 40才格差を感じないクラブ ・ビジョン声明をつくる ⇒ パスト会長にてビジョンを策定 <p>第3段階：計画の作成（どのようにビジョンを実現できるのか？）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的優先事項を定める ・年次目標を立てる ・活動項目、実施期日、必要なリソースを挙げる <p>第4段階：進捗の確認（目標への進み具合はどうか？）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次目標に向けた進捗を確認 ・目標を達成できなかった場合、その理由を特定する ・行動計画を見直し、調整する <p>(課題) (対策) (具体策) (ビジョン)</p>	2019年	4期目	2019-20年度会長が中心となりクラブの現状（問題）を把握・分析し、長期的なクラブの目標（どのようなクラブになりたいのか？）を策定しました。